

事務事業名		農村レストランスタンプラリー支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 中山間地域の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8964	一般	6	1	3	農村レストランスタンプラリー支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H18年度～26年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
	事業区分		事業分類		支援事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		3-7								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
中山間地域の活性化を図るため、農村レストランを活用したスタンプラリーを実施し、応募者の中から抽選で農村レストラン、農産物直売所等で使用できる共通利用券等を贈呈する。			応募期間中に農村レストランを利用した人に各レストランに用意してある応募用紙にスタンプを押印し、必要押印数以上が集まったら応募できる。 応募者の中から抽選で農村レストラン・農産物直売所にて使用できる共通利用券等を贈呈した。								
* 佐野市むらづくり推進協議会は、中山間地域で事業を実施しているむらづくり団体や、農産物直売所等の団体で構成され、情報交換・連携により地域活性化を図ることを目的としている。			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			スタンプラリー応募枚数	枚	563	405					
			農村レストラン数	店	6	6					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
農村レストラン利用者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
(交付対象団体) 佐野市むらづくり推進協議会			スタンプラリー応募枚数	枚	563	405					
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
市内の農村レストランを知ってもらい、利用してもらおう。			押印数	個	2,706	1,896					
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
中山間地域が活性化されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			農産物直売所売上額	千円	—	983,179					

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	1,000							
	一般財源	千円		100						
	事業費計(A)	千円	1,000	100	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			交付金	1,000	交付金	100				
	人件	正規職員従事人数	人	1	1					
のべ業務時間	時間	800	800							
人件費(B)	千円	3,113	3,153	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,113	3,253	0	0	0				

事務事業名	農村レストランスタンプラリー支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中山間地域の活性化対策として、農村レストランのPR効果を高め利用客の増加を図る目的で事業が計画された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	農村レストランは他の市町にも多く見られ、類似するスタンプラリーなども行われている。この事業では参加者にとって魅力的な賞品を設定し、さらに広域なPRを実施することにより、スタンプラリー参加者及び農村レストラン利用者の増加が見込まれる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	スタンプラリー参加者からは、この事業が各農村レストランを訪れるきっかけとなり、郷土の食とともに四季折々の景観が楽しめることと好評である。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	当せん賞品や印刷物の部数等の見直しにより事業費全体を削減した。(H25予算総額1,486千円→H26予算総額739千円)
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	中山間地域にある各農村レストランのスタンプラリーを実施することで、各施設への周遊を促し、来場者及び売上額の増加につながる。また各施設で利用できる共通利用券を賞品に設定することにより、各施設、地域へのリピーター獲得を図るものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	事業主体は佐野市むらづくり推進協議会であり、各地域の農村レストランを利用して山間地全域の活性化を推進することから、市の支援が必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	対象は農村レストランの利用者であるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	H21年度～H25年度のスタンプラリー応募者数は500～600人程度で安定し、本事業による一定のPR効果は得られたと考えられる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	⑥類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑦事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費・人件費とも大幅に見直し済みで、これ以上の削減の余地はない。
	⑧削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 評価	⑨受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	中山間地域の活性化推進のためには現状でよい。
	⑩受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑪本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 農村レストラン等が市内外の住民に広く知られるようになったとき。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			